

令和4年度高松商工会議所経営発達支援計画

実施結果

令和5年6月

経営発達支援計画の概要

実施者名	高松商工会議所(法人番号 7470005001064) 高松市(地方自治体コード 372013)
実施期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
目標	<p>当所地区内の小規模事業者の現状・課題や中長期的な振興のあり方を踏まえ、本計画の期間における目標を以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模事業者の自主的な経営計画に基づく経営基盤の改善と強化 ・香川県事業引継ぎ支援センターや事業承継支援ネットワークを活用した、事業承継支援を行う。 ・当所地区内の過半数を占めている商業・サービス業を中心に、販路拡大支援を強力に押しすすめる。
事業内容	<p>当所地区内の小規模事業者の現状・課題や中長期的な振興のあり方を踏まえ、本計画の期間における事業内容を以下のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の経済動向調査に関すること 2. 経営状況の分析に関すること 3. 事業計画策定支援に関すること 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること 5. 需要動向調査に関すること 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること 7. 地域経済の活性化に資する取組に関すること 8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること 9. 経営指導員等の資質向上等に関すること 10. 事業の評価および見直しをするための仕組みに関すること

1. 地域の経済動向調査に関すること

【実施した事業内容】

(1) 国が提供するビッグデータの活用

経済産業省の地域経済分析システム、通称RESASを活用し、地域の経済動向分析を行い当所HPに分析結果を公表した。

(2) 業種別景気動向調査等

「業種別景気動向調査」、「LOBO調査(日本商工会議所早期景気観測システムに提供する資料調査)」を行い、当所会報やHPに調査結果を掲載し周知した。

【実績】

(単位:回)

調査内容	令和4年度(目標)	令和4年度(結果)
地域の経済動向分析公表回数	1	1
景気動向公表回数	4	4

【令和5年度からの取組】

引き続き情報の公表を行うことで当所管内の状況を広く周知する。

2. 経営状況の分析に関すること

【実施した事業内容】

(1) 経営分析セミナーの開催

中小企業診断士を講師とした経営分析セミナーを開催。補助金申請に必要となる事業計画書の作成を通じて、課題を把握するための経営分析方法について情報提供を行った。

(2) 小規模事業者の経営分析

小規模事業者持続化補助金等の補助金申請支援、融資等の資金繰相談支援、創業間もない方、これから創業を検討している方等の創業支援を通じて、小規模事業者が経営状況を把握するための分析を行った。その中で専門家への相談が必要と考えられる専門的な経営課題をお持ちの事業者については中小企業診断士、税理士、弁護士等と連携し支援をした。

【実績】

支援内容	令和4年度(目標)	令和4年度(結果)
①開催件数	1回	1回
②分析件数	170件	304件

【令和5年度からの取組】

令和5年度も引き続き事業者からの相談に対応し、経営分析を行いながら支援を行っていく。経営分析セミナーについては引き続き継続して開催する。

3. 事業計画策定支援に関すること

【実施した事業内容】

(1) 事業計画策定セミナーの開催

経営革新計画策定のコツを伝える経営革新塾、BCP計画策定の要点を伝える中小企業BCP策定セミナー、事業承継計画を考える為のポイントを伝える事業承継セミナー(香川県事業承継・引継ぎ支援センターとの共催)を開催。事業者が計画を策定する為に必要となる情報を提供する各種セミナーを開催した。

(2) 窓口・巡回相談における事業計画策定支援

創業時の事業計画、補助金申請時の事業計画策定等の支援を行った。

【実績】

支援内容	令和4年(目標)	令和4年度(結果)
事業計画策定事業所数	60件	195件

【令和5年度からの取組】

引き続き事業計画策定支援を継続して行うことで各事業所の課題を明確にし、必要なセミナーの開催や窓口・巡回相談により適切な支援を行っていく。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

【実施した事業内容】

(1) 各種補助金採択後や事業計画策定後に定期的なフォローアップを実施

小規模事業者持続化補助金をはじめ、事業再構築補助金、市県補助金等の事業計画策定支援後のフォローアップ、資金繰り相談後のフォローアップ、創業支援者へのフォローアップを行った。

【実績】

支援内容	令和4年度(目標)	令和4年度(結果)
フォローアップ対象事業者数	60件	154件
頻度(延回数)	330件	466件
売上増加事業者	24件	17件
利益率5%以上増加の事業者数	24件	13件

【令和5年度からの取組】

引き続き事業者へのフォローアップを継続して行うことで、事業者が事業計画達成する為に必要な支援を行う。

5. 需要動向に関すること

【実施した事業内容】

(1) 県外バイヤーに対し需要動向調査を実施

GROWUPプログラム事業を通じて、販路拡大に必要なセミナーを開催。また県外バイヤーが参加事業者を個別訪問することで、商品のデザイン、価格設定、味や品質、市場トレンドとの整合性、消費者への売りやすさ、バイヤーとしての仕入れやすさ等、直接のアドバイスをを行った。

【事業者訪問時の様子】



(2) 各事業者の顧客・消費者に対し需要動向調査を実施

出店した展示会において来訪した顧客、消費者に、主力商品に対する評価についてヒアリング調査を行った。需要動向についての情報共有を行った。

【実績】

支援内容	令和4年度(目標)	令和4年度(結果)
(1)対象事業者数	15件	15件
(2)対象事業者数	5件	6件

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

【実施した事業内容】

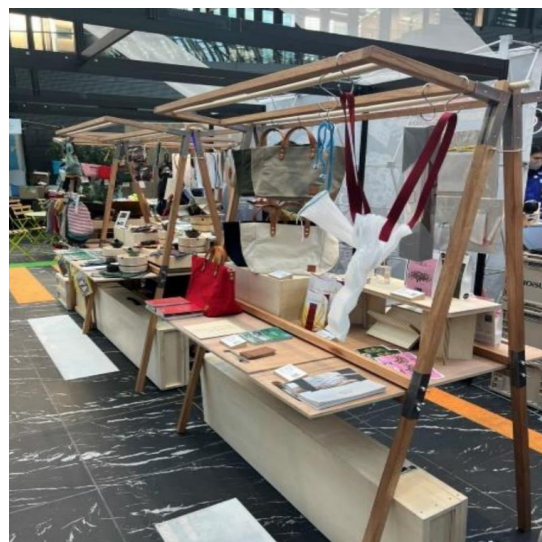
(1) 他団体主催商談会・展示会への出店支援事業

これまで商談会での商談経験の殆どない事業者に対して商談スキルと販路拡大に向けて知識やスキルを習得する為の支援を行った。テストマーケティングの為に実際の250件が参加する展示会(NEW ENERGY)へも参加し、商品・サンプル提供を行った。

【NEW ENERGYの様子】



【NEW ENERGY出店ブース】



(2) 当所主催商談会開催事業

事業者が新商品・新サービスの提供を行うチャレンジショップ事業を丸亀町商店街で開催した。直接エンドユーザーへPRすることで生の意見を聞くことができ、商品・サービスのさらなるブラッシュアップ、販路拡大につなげる機会となった。

【チャレンジショップ事業】



【実績】

支援内容	令和4年度(目標)	令和4年度(結果)
他団体主催展示会出展企業数	15 件	6 件
成約件数/社	10 件	0 件
当所主催展示会出展企業数	15 件	15 件
成約件数/社	10 件	0 件

【令和5年度からの取組】

令和4年度から3年計画で事業者の商品開発、販路開拓を行う支援を開始した。1年目は専門家を活用し商品開発に必要なスキル・知識の習得に努めた。2年目となる令和5年度は1年目で得ることができた情報を基にした、商品開発等を通じてテストマーケティング・展示会への出店につながる支援を行っていく。当所主催展示会については他団体主催の展示会へ出店した場合との実効性の違いを考慮しながら開催について検討していく。

7. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

【実施した事業内容】

(1) 高松市中心市街地活性化協議会を開催した

(2) 商店街で実施するイベント事業への協力

商店街をもっと楽しんでいただくための、ぐるぐる商店街事業として、高松中央商店街アプリの完成PRイベントを行った。

事業者が新商品・新サービスの提供を行うチャレンジショップ事業を丸亀町商店街で開催した。

【ぐるぐる商店街事業】



(3) 瀬戸内国際芸術祭の開催に協力

当所会頭並びに専務理事が瀬尾内国際芸術祭実行委員会に副会長、幹事として従事した

瀬戸内国際芸術祭実行委員会 副会長 泉会頭

瀬戸内国際芸術祭実行委員会 幹事 安藤専務理事

【令和5年度からの取組】

引き続きぐるぐる商店街事業、チャレンジショップ事業等を行い地域経済の活性化に資する取組を継続する。

8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウの情報交換に関すること

【実施した事業内容】

- (1) 香川県産業・企業動向関連情報連絡会議への出席
- (2) 経営改善資金貸付推薦団体連絡協議会への出席
- (3) 香川県6商工会議所中小企業相談所長会議の開催
- (4) よろず支援ネットワーク連絡会 への出席

他団体と情報交換ができる各種会合へ出席。事業者の経営課題の解決を図る為の支援ノウハウ等の情報交換を行った。

【令和5年度からの取組】

引き続き各連携機関と情報交換を行いながら継続した支援を行う。

9. 経営指導員等の資質向上に関すること

【実施した事業内容】

支援担当職員が中小企業大学校や日本商工会議所が主催する各種研修会並びに香川県下商工会議所経営支援担当職員研修に参加した。

若手経営指導員が行う相談対応にベテラン経営指導員が同席、また専門家の相談の際に当所職員が同席する等、OJTによる効果的かつ実践的な伴走型支援能力の向上を図った。

日本政策金融公庫融資担当者を講師として招き融資勉強会を開催、支援能力の向上と効果的経営手法の習得等に努め総合的な支援能力の向上を図った。

相談内容を経営支援ツール(toas,Bizミル)へ入力し職員間の情報共有並びに情報の蓄積を行い支援内容の共有を図った。

【令和5年度からの取組】

これまでの補助金申請相談などの課題解決型の伴走支援から「対話と傾聴」を重ね、本質的課題を特定する課題設定型の伴走支援が求められている。これまで以上に各種研修の参加、勉強会を実施し、さらなる経営指導員・支援員の意識改革スキルアップを行う。

10. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

【実施した事業内容】

令和4年度の経営発達支援事業実施結果について有識者による評価委員会を開催。今後の効果的な支援のPDCAサイクルの構築を図る為実施状況を報告し成果について評価を行った。結果について次年度以降の計画の参考とするとともに、当所ホームページで公表することとした。

【令和5年度からの取組】

今後のより良い支援に向けて、引き続き年1回の評価委員会を開催し、委員の皆様から評価をいただく。評価いただいた内容を参考に今後の効果的な支援のPDCAサイクル構築を図るものとする。

経営発達支援計画運営・評価委員会開催結果について

1. 日 時 令和5年6月16日（金）14：00～15：00
2. 場 所 高松商工会議所会館 4階 403会議室
3. 出席委員 4人
4. 審議事項 (1) 令和4年度実施事業の評価・見直しについて
(2) その他
5. 結 果

当所事業推進部長による開会挨拶の後、運営・評価委員会規程第3条第3項により、委員長が議長となり議案審議を行い、審議事項（1）について、各委員から以下のとおり意見・評価があり今後の取組みに反映することとした。審議事項（2）その他については特に意見がなく閉会となった。

○事業計画策定後の実施支援に関すること

新型コロナウイルスの影響により多くの補助金が出ている。今後は補助金申請後のフォローが重要になってくると考えられるので引き続きの支援をお願いしたい、

○経営指導員等の資質向上に関すること

商工会議所のような地元事業者のこと良く知っている支援機関が積極的に伴走型支援を行っていただきたい。

○新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

販路開拓については3年計画の1年目が終わったところ、2年目以降も引き続きの支援を継続して行っていただきたい。

○事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

他支援機関の評価結果も参考にしながら評価委員会を継続して行っていただきたい。

以上